

分会ニュース

恣意的なボーナスカット(5%)は 絶対に許さない!

会社は私たちJR東海労組合員へボーナス(夏季手当)5%カットを行った。

全社員の皆さん!

カットされた組合員が理由を聞くと、日笠首席は「あなたの勤務態度・勤務成績が悪いと聞いている」との話である。「聞いている」とはどういうことだ。現場の管理者が関西支社にカットする事を目的にその事由を報告しているのに、日笠首席は全く他人事である。

分会役員が日笠首席に聞いても「あなたには関係ないでしょう」とカット理由を一切言わず、挙句の果てには「業務妨害をするのか」と邪魔者扱いでした。組合員のボーナスを現場管理者が恣意的にカットする事は絶対に許されない。こんな不良管理者は職場にいない。

この間、私たちはJR東海会社による「命令と服従」「規律と忠誠心」による従順な社員づくりを強要する「主任レポート」や「時系列等報告書」に反対の取り組みを行い、会社の狙いを明らかにしながら職場から闘ってきた。その運動の取り組みが社員や他労組へ広まる事を恐怖した会社の不当な攻撃であることは間違いない。

私たちJR東海労大二両分会は、このような不当なボーナスカットは認められない、撤回を要求する。今後も労働組合として企業権力のチェック機能を高め、働きやすい職場環境と社員の安全と健康を守る取り組みを推し進めるものである。